

News 1 山の豊かな自然を肌で感じる

鳥取県で「山の日」記念全国大会

8月11日の「山の日」は、山に親しむ機会を作り、山の恵みに感謝する日として、2016年に定められました。今年は8月10、11日の両日、鳥取県で山の日記念全国大会が開かれます。記念行事やさまざまなイベントを通じて、自然とともに暮らす素晴らしさと自然保護の大切さを全国に伝えていきます。

登山、トレッキング、ハイキングなど山の楽しみ方は色々あります。また、緑が広がる山々は、新鮮な空気を吸ったり、さまざまな植物を見て楽しんだり、心身をリフレッシュするには絶好の場です。この夏は、山々からの恵みを感じに足を運んでみませんか。



多彩なステージプログラム



2人引きのこぎりでの丸太切り体験

※写真はすべて昨年度のものです。

山の日記念全国大会 in 鳥取

日程：8月10日(金)、11日(土・祝)
場所：鳥取県米子市、大山町
内容：記念式典、トークセッション、歓迎フェスティバル(森の恵み感謝祭、里の恵み感謝祭、ステージイベントなど)



ツリークライミングの体験コーナー

未来に残したい 全国の巨木を選定

林野庁は、全国の国有林内の巨樹・巨木の中から、次世代への財産として残していくべき木を「森の巨人たち百選」として選定しています。選ばれた巨木は、地域住民による協議会によって、保護柵や表示板の設置、周辺の環境整備などの保護活動が行われています。

長い年月をかけて年輪を重ねてきた巨木は、自然の神秘や生命の力強さを感じさせる大切な存在。古くからの言い伝えが残されている木や、ご神木として信仰の対象になっている木も多くあります。そんな、巨木の生命力や癒しのパワーを感じに、旅に出掛けてみるのもいいかもしれません。

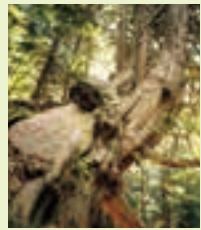
1 乙部の緑柱 (北海道乙部町)



木の幹が絡みあって1本の木となっている。地元の人びとからこの木に触ると良縁に恵まれると崇められている。

北海道森林管理局

2 脇野沢千年ヒバ (青森県むつ市)



根元に大岩を抱き込んだ姿が印象的。名前には1000年、2000年と生き抜いてほしいという願いが込められている。

東北森林管理局

3 弘法大師のさかさ杖 (長野県東御市)



約1000年前、弘法大師が諸国行脚で峠を越えた際、茶屋に置き忘れた杖が根付いたという言い伝えがある。

中部森林管理局

4 シラヌタの大杉 (静岡県東伊豆町)



伊豆半島第一級の古木で、樹齢は推定1000年。近くにはモリアオガエルが生息する「シラヌタの池」がある。

関東森林管理局

6 四万十源流の大モミ (高知県津野町)



四万十川の源点がある不入山の巨木。不入山は江戸時代、一般の人の立ち入りや樹木の伐採が禁じられていた。

四国森林管理局

7 サキシマスオウノキ (沖縄県竹富町)



地面近くの根が板のようになる「板根」が群を抜いて大きく、日本最大のサキシマスオウノキと見られる。

九州森林管理局

森の巨人たち百選の他の木々も掲載しております。詳しくは Web サイトをご覧ください。



森の巨人たち 百選



5 大悲山の三本杉 (京都府京都市)



古くから白鷹竜王の宿のご神木として守られてきた。京の都から大悲山峰定寺への道しるべにもなっていた。

近畿・中国森林管理局

「フォレスト・サポーターズ」募集



詳しくは Web サイトをご覧ください。

「フォレスト・サポーターズ」に参加してみよう

近年、日本の森が元気を失っています。フォレスト・サポーターズは、都市部の人や企業にも参加を呼びかけ、みんなで森のために行動することを目指して誕生しました。サポーターに登録した多くの人が「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らそう」の4つのアクションを実行しています。皆さんもサポーターになって一緒に森を支えていきませんか。

読者の声

読者の皆さまから寄せられた
「aff (あふ)」6月号へ
ご意見・ご感想を紹介します。

「私のおもいで弁当」を読みました。思い出、歴史、エピソードのつまっている豊かなお弁当ですね。作り方も勉強になります。(60代以上・女性)

日頃、何も考えず飲んでいた牛乳ですが、色々な牛の種類、製造方法について知ることができました。いつもは、値段だけを考えて購入していましたが、これからは、好みの牛乳を見つけるために、色々試したいです。牛乳スタンドも東京に行ったら寄ってみたいです!(40代・女性)

ヨーグルトが大好きで、色々買って楽しんでます。今回、「効能で選ぶヨーグルト」の記事を読み、驚きました。1銘柄を2週間食べ続け、自分にあうヨーグルトを見つけたいです。(60代以上・女性)

「乳製品を手作りしてみよう」を読み、バターやアイスクリームがこんなに簡単にできることに驚きました。今度作ってみたいと思います。(30代・女性)

食に関するさまざまな活動を知ることができて勉強になりました。普段、食について深く考える時間がないので、affを読むことで勉強になっています。(20代・男性)

「『弁当の日』は食育の第一歩」の記事の子どもたちに釘付けになりました。笑顔がすべてを物語っています。全国の学校や職場にも広がってほしいです。(50代・男性)

感想をお聞かせください

今後もよりよい広報誌とするため、読者アンケートにご協力ください。
農林水産省 Web サイト「aff (あふ)」のページから回答できます。



○編集・発行 農林水産省大臣官房広報評価課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111 (代表) FAX.03-3502-8766

○編集協力 株式会社文化工房
〒106-0032 港区六本木5-10-31 矢口ビル4F
TEL.03-5770-7114 (代表) FAX.03-5770-7132
編集/中村麻由美 小尾悠梨子 糸瀬早紀
藤田紫系 小竹結女 小野沢啓子 三邊晶子
アートディレクション/釜内由紀江
デザイン/石川幸彦 清水桂

News 4

非常食がごちそうに変身

8月30日から9月5日は、防災週間です。大規模災害への備えで大切なのが、家庭での食料の備蓄。缶詰やレトルト食品を多めに買って定期的に食べ、使った分を買い足していくローリングストック法なら、いざというときに賞味期限切れ、という失敗を防げます。非常食をアレンジして、普段の食事でおいしく食べられるレシピを考案した大学のゼミも。防災週間にあわせて、皆さんも食料を使いながら備える工夫をはじめましょう。



レシピを考案した、愛知学院大学の学生たち



アルファ化米とさんま蒲焼缶詰を使ったのり巻き



さばの缶詰を具に使った春巻き



保存用ビスケットを使ったティラミス



レシピについて
詳しくはこちら

クイズの答え

カービング

素材は、本誌17ページで紹介したスイカ以外に、メロン、にんじん、きゅうり、だいこんなどさまざま。果物や野菜からできているとは思えない美しさと、ナイフ1本ではじめることができる手軽さから、世界中で楽しまれています。

初心者でもできる簡単なものもあるので、世界にひとつだけの作品を作ってみてはいかがでしょうか。



News 2 海と地球を体感しよう

「海」に焦点を当てながら、地球の過去から未来までを学べるイベント、「海の地球ミュージアム2018」が東京・六本木で行われています。展示されているデジタル地球儀「触れる地球」は、まるで宇宙から見ているような感覚で、地球の様子や迫力を、実際に触って感じることができます。また、ザトウクジラやマンタ、ジンベエザメなどが泳ぐ姿を、プロジェクション・マッピング技術で会場に投影したり、黒潮の魚たちが泳ぐ水槽を設置したりするなど、地球の大部分を占める海について紹介します。

さらに、親子向けに海と地球についてのワークショップ「子ども地球教室」も実施。「触れる」体験や海の映像、展示を通じて、地球や環境について学べるイベントです。

海の地球ミュージアム 2018

日程：開催中～9月2日(日)
場所：六本木ヒルズ展望台(森タワー 52 階)
展望台入館料：一般 1,800 円、高・大学生 1,200 円、
4 歳～中学生 600 円、シニア(65 歳以上) 1,500 円



黒潮の流れ

エルニーニョの影響

©Earth Literacy Program

デジタル地球儀とは
現在の雲の様子や、地球の温暖化、台風・津波の発生過程など、さまざまな姿を映し出すことができる地球儀形のディスプレイ



手で回すように画像を動かすことができる

News 3 発見・驚き・感動がぎっしり



水について学べるさまざまな体験がいっぱい

子ども向けの参加体験型イベント「丸の内キッズジャンボリー 2018」が8月14日から3日間、東京国際フォーラムで開催されます。

「教えて!水のこと!～水の大辞典～」では、水が私たちのところに届くまでの意外な秘密や謎が、クイズや映像を通じて分かります。他にも、生き物と自然のつながりやお箸の使い方、食事のマナーが楽しく学べる講座など、さまざまなワークショップが行われます。自由研究の題材探しはもちろん、新たな発見や今までにない体験もできるので、親子で足を運んでみてはいかがでしょうか。

丸の内キッズジャンボリー 2018

日程：8月14日(火)～16日(木)
場所：東京国際フォーラム
入場無料
詳しくはこちら



「ビーズひろいゲーム」でお箸の使い方を学ぶ



※写真はすべて
昨年度のもので